

日時：令和5年10月31日(火)15:30～16:45

場所：彦根市役所5階 会議室5-1

1 挨拶

2 自己紹介（所属・名前）

3 会長・副会長の選出

- ・会長) びわこ成蹊スポーツ大学 教授 黒澤 寛己
- ・副会長) 聖泉大学 准教授 多胡 陽介

4 報告事項

●部活動地域移行の経緯について（事務局より）

- ・子どもの人口減少に伴って、教職員の数も減る。そのため、専門的な指導ができなくなってきている。
- ・子どもたちのスポーツ・文化芸術活動環境を保障するため、地域単位で部活動を支えていくことが求められている。
- ・先行実践している稲枝中学校区では、多くの成果が上がっている。
- ・課題としては3点。「指導者の確保」「運営を任せることができる受け入れ母体」「部活動の固定概念（勝利至上主義）の脱却」が必要。
- ・推進協議会の役割。方向性を定め、共通した実践。取り組みの周知。
- ・体制整備として、スポーツ部局や地域振興課等、さまざまな機関と協力しながら進めていきたい。

●部活動地域移行に係るこれまでの取組について（稲枝地区先行実践：コーディネーターより）

- ・学校支援協議会（ボランティアを組織する団体）の下部組織が地域移行の母体
- ・一番の課題は、この事業が持続していく取り組みになるように、彦根市全体のルールを作っていく必要がある。
- ・地域移行による良い点はたくさんある。地域指導の方と校内の指導員との連携が大切になってくる。

●質疑応答

- ・取組の方向性について
- ・予算について
- ・地位移行のメリット、デメリットについて

5 議題

(1) 彦根市の目指す地域クラブ活動について

(案)

【目的】

彦根市中学生の休日の地域スポーツ・文化クラブ活動では、生徒のニーズに合った多様で持続可能なスポーツ・文化芸術環境を整備し、生徒の望ましい成長を保障することを目指すこととする。

・稲枝地区に関しては、継続して実証事業を行っていく。

(生徒が希望する活動を選択できる環境を保障するとともに、勝利至上主義等による活動過多を抑止)

【今後の方向性】

令和6～7年度…令和8年度後半からの実施に向けて、種目ごとに受け入れ体制を整備

(進められそうな競技があれば、検討・協議し、進めていく)

令和8年度後半…市内全中学校の休日部活動をできる限り地域へ移行し、各種目の地域クラブ活動を開始する

(2) アンケートによる実態調査（児童生徒・保護者・教職員等）について

・方法…Forms ・時期…11月中旬（〆切：11月末） ・内容…別紙参照

(3) 各団体で進められそうなこと

(4) 協議会への要望

6 事務連絡

(1) 今後の協議会の予定

・第2回 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会 12月14日(木)予定

【①アンケート結果 ②水泳連盟、剣道連盟の実施状況報告 ③各委員より提案 等】

・第3回 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会 2月中旬予定

【①今年度の総括 ②次年度の取組 等】

7 びわこ成蹊スポーツ大学 教授 黒澤寛己 先生より

・地域移行の難しさ

・事例の紹介（長崎県長与町）

・大学生の派遣について 等